

令和5年度事業報告

概 要

令和5年度は、酷暑と言えるような暑い期間が10月まで続き、特に7月が史上最も気温が高かったことから、国連のグテーレス事務総長は地球沸騰時代の到来と話されていました。当地域においても連日30度を超すような猛暑に襲われ、炎天下の中の除草作業や刈込剪定作業など健康被害が心配されたところです。幸いにも熱中症対策を行ったことから重篤な症状になった会員がいなかったのが良かったと思っています。冬期間においても昨年以上の小雪で1月、2月の気温も高く、ここにも地球温暖化の影響が出ているものと推測されました。

コロナ感染症については、令和5年5月8日に5類感染症に位置付けられ、通常の経済活動に移行しました。そうしたことから令和5年度の総会は4年振りに通常開催となり85名の参加がありました。また、各種講習会、研修会も解禁となり、地区毎の研修会も4年振りの開催となり、3地区で131名の方が参加されました。久しぶりの研修会・懇親会であったことから、参加された会員からは好評でした。さらに春の安全講習会も長井・飯豊地区、白鷹地区に分かれて開催することができ、それぞれに85名、28名の参加がありました。

令和5年度からは中期計画（令和5年度から令和9年度）に基づき、センター活動を実施してきました。人口減少や少子高齢化等に対応するべく、会員数は460名、請負事業は1億8千万円、派遣事業は3千500万円を目標値に定め、様々な施策を展開してきました。以下、具体的な活動実績について記述します。

会員拡大については、特徴的な取り組みとして、ハローワーク長井主催の「まだまだやれる就職面談会」に参加し、6名の面談で2名が入会されました。会員数は昨年度末より2名増となっていますが、今後も目標達成に向けて新しい手法を用いながら取り組んでいきます。

請負事業実績は、インボイス制度対応のために事務費を2%値上げし、配分金単価も見直しを行い、さらにはコロナ後の経済活動が解禁になったにもかかわらず、前年度実績から大幅な減少となりました。高温で仕事ははかどらない、積雪が少なく除雪作業がなかったなどの気候の影響や、受注そのものが少なかったこと、会員の高齢化等により外作業をする人が少なくなったことなどの影響が大きかったものと推測されます。具体的な職種では、前年度の前倒し分による雪囲い撤去、小雪により落ち込みが大きかった除雪業務のほか、派遣への移行分、ワクチン消毒や図書館清掃などの受注がなくなった屋内清掃作業、果樹作業等がなくなった農林・水産作業などが減少しました。調理・食品関係作業は洗い場作業や枝豆洗浄などにより増加しましたが、全体としては前年度を大きく下回った結果となりました。

派遣事業においても、会員の高齢化や業務の特殊性から就業できない業種があったため、件数で2件減少し、実績では97.4%となりました。

以上から、請負事業と派遣事業の合計実績においても、前年度を下回る93.8%の結果となりました。

最後に、国や県、長井市、白鷹町、飯豊町の各自治体、諸団体からのご支援、ご協力、県シ連や他センターの皆様のご指導、ご協力により各種事業に取り組むことができました。ここに深く感謝申し上げます。

実施状況について（主なもの）

（１）実績

① 3月末現在の会員数

433人（対前年度 3人、100.7%）

② 3月末現在の請負事業件数及び金額

4,341件（対前年度 △683件、86.4%）

161,553,716円（対前年度 △11,898,220円、93.1%）

③ 3月末現在の派遣事業の件数及び金額

49件（対前年度 △2件、96.1%）

31,010,183円（対前年度 △836,481円、97.4%）

（２）組織体制の強化

① 諸課題対応のため、三役及び職員等による定期的な打合せを毎月実施した。

② 事業推進委員会、安全・適正就業審査委員会、女性委員会、中長期計画検証（策定）委員会の4委員会において各事業計画を立案、実践した。

③ 屋外業務管理専門員並びに職群ごとに職長を配置して、技能向上や会員間の連携等を図った。

（３）会員の拡大

① 入会説明会を毎月定期的及び随時開催し、入会者の勧誘を図った。

② シルバー人材センター広報誌の各世帯配布や回覧、ホームページへの仕事内容や入会説明会情報の掲載や更新、おらんだラジオ出演によるセンター活動PRや会員勧誘等を実施した。

③ ハローワーク長井主催の「まだまだやれる就職面談会」に参加して会員数の拡大に結び付ける取り組みを実施した。

④ 退会希望の会員に対しては、積極的にゴールド会員への加入を勧めた。

（４）各種研修会の開催及び参加

① 2回の新入会員研修会を開催し、シルバー人材センター会員としての意識向上、会員同士の連携等を図った。

② 生活支援就業会員研修を兼ねて県シ連主催「暮らしの片付けセミナー」を開催し、会員・一般を含めて多数の参加があり、うち数名が入会された。

③ 生活支援就業会員に向けてスマホ・PC等操作講習を実施し、Lineを活用した生活支援グループを作り就業情報等を提供するなど、デジタル活用を推進した。

④ 刈込剪定において、各班のリーダーを集めて知識や技術向上等を図った。

⑤ 除草作業において、会員の懇談や道具の種類、使用方法等の知識向上を図った。

- ⑥全シ協主催の web 研修、県シ連主催の研修会に役員や職員が参加して、資質向上を図った。
- ⑦先進地視察として、他県、県内他市のセンターに役員や職員が出向き、他センターの活動内容等を学ぶことで、当センターの事業改善や知識等の向上を図った。
- ⑧地区別研修会を開催し、長井警察署の「特殊詐欺被害防止について」の講話による詐欺被害防止の啓発や平野昔語りの会の公演による会員の融和を図った。

(5) 各種講習会及び懇談会の充実

- ①県シ連主催の人材確保育成事業による「暮らしの片付けセミナー」や「接遇マナー講習」、「健康体操」に参加し、知識や技能向上、体力向上を図った。
- ②刈込剪定に係る講習として、初心者を対象とした座学及び実技講習会を始め、一般会員対象の松の木剪定、キャラボクの剪定等の講習を実施し、知識や技能向上を図った。
- ③雪囲い作業に係る技能向上及び安全作業の確保を図るため、就業会員を対象に座学及び実技講習を実施した。
- ④除雪機使用による除雪作業に就業する会員を対象に、外部講師による座学及び実技講習を開催した。
- ⑤生活支援会員懇談会として、会員が就業して感じた困りごとや悩みなどを出し合いながら、解決に向けてアドバイスをするなどの会を定期的で開催した。
- ⑥女性委員会主催による和菓子づくり講習、筆ペン・ボールペン字講習、日帰り研修を実施し、各知識や技術の向上、他センターとの交流、会員同士の融和と親睦を図った。
- ⑦デジタル利用促進事業として、スマホ等操作講習会、スマホ等操作個別相談会を複数回開催して会員のデジタルスキル向上を図った。

(6) 就業事業の拡大

- ①当センターで引受可能な作業について、センター広報誌へ掲載して受注拡大に努めた。
- ②おらんだラジオに出演して新入会員募集や当センターの活動をPRして受注拡大に努めた。

(7) 安全就業の推進

- ①安全・適正就業審査委員会による安全対策や猛暑対策、蜂刺され対策を検討した。刈払機作業については、作業直前の現場確認と危険箇所確認の徹底を図った。また、現地巡回を実施し、作業している会員の安全意識の向上を図った。
- ②職群毎に安全作業の講習を実施した。刈込剪定職群班では現地巡回指導を行い、安全対策の向上に努めた。
- ③安全・適正就業審査委員の資質向上を目指し、安全就業に係る研修会や県シ連主催の安全就業推進大会に参加した。

(8) ボランティア活動及び社会貢献

- ①長井市あやめ公園の除草及び最上川河川緑地公園の階段除草、白鷹町健康広場の草刈り、飯豊町どんでん平ゆり園の除草及び石原公園の刈込剪定作業を実施した。
- ②刈込剪定作業の技能講習会を兼ねて、白鷹町立東根小学校で初心者刈込剪定講習、当センター長井事務所内で初心者刈込剪定講習を実施した。
- ③雪囲い作業の技能講習を兼ねて、長井市あやめ公園内の樹木の雪囲い作業を実施した。

(9) 交流広場「とまり木」の活動

- ①会員及び一般市町民が交流できる場として、手芸、折り紙、植物愛好会、ウォーキング、健康体操、輪投げの6つのコーナーが定期的な活動を実施した。
- ②「とまり木フェスティバル2023」を11月に長井市小桜館において開催した。会員による活動の発表や作品等の展示を行って、活動の成果を示すことができた。一般の方を含めて多くの方の参加があった。